市民諸君に訴ふ

電車の從業員から

親愛なる市民諸君！

私等は諸君の生命と財產を、しばらくの時間にもせよ托せて行く、重大な責任を持つ電車の從業員であります。從て私等は御承知の如く私等の仕事は少しの油斷も出來ないので、若し電車從業員の心身に疲勞や不安が重なら、それこそ重大であります然るに、

市民諸君！

現東京市は財政難を口實に、從業員を十円五十円と首切りしようとして居るのです、一月十五日と二月一日の二回に亙る解雇者の發表を行はれて第一第二と下級從業員の大首切りの前提でありまして、今私等は極度の不安にかられて居ります

親愛なる市民諸君！

昨年秋以來年に入つてから世間の不景氣は一層に今迄にない深刻さがあります、職に就いて働いてゐる者でも收入がグン／＼減つて、生活難に苦しんでおります、又世間は就職難が益々鋭しく、失業者は群を増して行き、犯罪數も増の一因となつて、今や前代未聞の不安時代を現出しております、かゝる恐るべき時期に、而も東京市自身が數百名の失業者を、街頭にほうり出す事は、果して市政を預かる當局者としての適當なる處置であるでしょうか

市民諸君！

更に私等は東京市が現下の社會状勢を無視して、數百名の首切りをしなければならぬ理由に、既に行詰つてゐるから難だ實はさるを得ないのであります。

それは現に我が東京市が不始末の醜状を暴露した證據である。彼の板舟權問題に就て見ましても、暴露してゐると稱する東京市から七十五萬円と云ふ大金が僅か十數名の議員の懐に、呉れて仕舞ふといふ醜態をすら、市當局に誠意のあるものならば、出來ないではありませんか

親愛なる市民諸君！

かゝる板舟權の七十五萬圓を支出する事と、果して正當であらうか、五百名の失業者を出さない事とは、どちらが市民の爲めなんでしょうか

首を切つた翌月から休職しようとする者は、言ひ渡されたら一ヶ月分の給料と、日給で働いて居る私等下級從業員は、首を切られたら翌日から一文の給金も貰へないのです、故に其の時の私共の行く先は、想像するだけでも寒心に堪へません

市民諸君！

市當局者はかゝる無定見な、無謀な、無責任な數百名の首切りを、市民の犠牲である、市民の電車從業員の上に斷行せんとして居ります

親愛なる市民諸君！

私等は私等の生活の爲めから、かゝる大きな不安を持つて勤務に就いて居る事は、決して市民に對する忠實であるまいと思ひます爲めに、茲に從來以上の絶對反對を、市民諸君に御訴へして輿論の御後援の下に、市當局者の反省を促すと同時に、此の一の場合に於ける私等の處置を了とせられたいのであります

昭和四年二月

馘首反對共同闘爭委員會

東京市電從業員自治會
東京市電從業員現實同盟
東京市電協同會